

授業科目 整形外科学 I

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業・義肢
真柄 彰		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 脊髄以下の中枢末梢神経系・骨・関節・筋などの運動器の解剖学と運動学とその障害の改善方法を理解することが、リハビリテーション医学を理解する基礎となることを修得する					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1) 神経系や運動器の外傷疾病と障害を理解するため整形外科的に評価できる 2) 神経系や運動器の外傷疾病に対する整形外科的検査を説明できる 3) 保存的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる 4) 手術的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる 5) 整形外科的な各種の具体的疾患についてその特徴と治療法を説明できる 6) 疾患をみるだけでなくその対象者を全体としてとらえることができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	整形外科学の基礎知識	骨・関節の基本構造		1,2	講義
2		骨格筋の基本構造と機能		1,2	講義
3		神経系の基本構造		1,2	講義
4		骨・関節、筋・神経の病態生理		1,2	講義
5	運動器の評価および検査法	運動器の測定法		1,2	講義
6		運動器の検査法		1,2	講義
7	整形外科学的治療法	保存療法		3	講義
8		手術療法		4	講義
9	整形外科疾病論	炎症性疾患・感染症		5,6	講義
10		関節リウマチ		5,6	講義
11		代謝・内分泌性疾患, 退行性疾患		5,6	講義
12		先天性骨・関節疾患		5,6	講義
13		循環障害と壊死性疾患		5,6	講義
14		骨・軟部腫瘍		5,6	講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野整形外科学 第2版	立野勝彦	医学書院	3,000円
参考書		リハビリテーション総論	椿原彰夫	診断と治療社	2008・3,600円
その他の資料		プリント配布 edulan上に参考ファイルを提示する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席 15%程度 定期試験 85%程度			予習復習にこころがけること		